



よい子 つよい子 できる子

新井小学校たより 6月号

平成 28 年 6 月 27 日

HP アドレス <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

身に付けたい「社会で生きていくための基礎・基本」

校長 川住晴彦

「人とかかわる力を付ける」ことが目標の一つだった4泊5日のフレンドスクールを終えて学校生活に戻ってきた6年生が、一回り大きく成長したように見えます。これからの学校生活で、下学年と接する中でも、リーダーシップを発揮してくれることを願っています。

さて、次の文章は、ある教育雑誌に載っていたものです。

(前略)函館から海峡線に乗って、盛岡に出向いた折のことである。青森で乗り換えたところ、一人の女性が座っていた。その隣席にはバッグが置かれていて、人はいない。空いているのだろうと見当を付けて、「ここは空いていますか?」と聞いてみた。案の定、席は空いていた。その若い女性は、黙ってそのバッグを取り上げて、自分の膝の上に置いた。

私は、「どうもすみません」と言って、その席に座った。女性は、この間、終始無言であった。そして、いくぶんか不快な表情が見て取れた。あるいは、私にはそのように感じられただけのことかも知れない。

もし、私がこの女性の立場であったならば、必ず、「空いています」とまず応対し、それから、「どうぞ」と席を空けてその席に座ることを「勧める」だろう。私は、いつもそういう。それは、私の「身に付いたこと」である。(後略)

名前を呼ばれたら返事をすることも、大事なことです。さる著名な高校野球の監督が、優れたレギュラー選手になっていく生徒とそうでない生徒は、だいたい見分けがつくと言っていたそうです。それは、「返事がきちんとできるか否か」ということだそうです。返事もろくにできないような選手は、たとえ技術的に高いものを持っていても、どこかで挫折してしまうそうです。それは、人間としての基礎・基本ができていないのですから、当然のことなのかも知れませんね。

新井小学校では、授業の中で返事ができるようにと指導しています。また、新井小のすべての子どもにこのような立ち居振る舞いを身に付けてもらいたいとも願っています。

学校は、集団生活の場の一つです。教科の学習を身に付けることはもちろん大事です。しかし、社会で生きていく上で「基礎・基本」を身に付けることは、もっともっと大事なことだと考えています。

新井小職員が同様に取り組んでいきますので、ご家庭や地域のみなさまからも子どもたちに「かかわって」いただき、育てていただけるとありがたいなあと思います。

<学年の活動紹介>

かがやき 1年生



にじいろ 2年生

5月17日に、コメリに野菜の苗を買いに行きました。子どもたちは真剣に苗を選びました。学校に戻り、牛乳パックで作った野菜の名札を立て、自分の苗を植えました。

5月下旬には、野菜が育ち収穫が始まった子どももいます。他の子どもも、「花が咲いたよ」「小さい実ができた」とうれしそうに話しています。一生懸命に育てた野菜の味は格別だと思います。収穫した野菜をみんなで食べるのが楽しみです。

たいよう 3年生



探検は楽しいよ！

1年生は、学校探検や握手大作戦などの活動を通して、少しずつかかわりを広げています。

6月8日には、学校の近くの「じゃぶじゃぶ公園」の探検に行ってきました。シロツメクサでかんむりを作ったり、四つ葉のクローバーを見つけたり、木登りをしたり、石跳びをしたりするなど、楽しく活動することができました。

野菜の成長が楽しみ！



六十の市で買い物をしました！

3年生は、六十の市へ何度か出掛けています。店先の品物が違っていたり、前はなかったお店もあったりし、その都度発見があります。

子どもたちは、事前に家人と相談していた物を買おうとお店を目がけて進み、値段とお金のにらめっこ。一番人気は、「どらやき」だったようです。「あー、いいにおいする！」お店の前に並んで順番を待ちながら、出来上がっていく様子をじっと見たり、お店の方や他のお客さんと会話をしたりする様子も見られました。

ひまわり 4年生

猪野山で活動しました！

5月6日に、猪野山の黄金清水までの道の整備に行きました。のこぎりを使ったり、落ちている木々や葉を拾って片付けたりしました。そして、ひまわり学年全員の力で、50年以上前に使われていた道を復活させることができました。

また、5月27日には、黄金清水からのチャレンジコースにチャレンジしてきました。沢にそってロープを伝いながら下るなど、自分の力を出し切り、達成感がありました。



スマイル 5年生

田植えをがんばりました！



総合学習「ふるさとの食をみつめて」の体験活動として、田植えに挑戦しました。大黒屋さんから田植えのしかたを教わり、苗を3~4本まとめ指でつまみ、丁寧に植えました。

今回植えたのは「華麗舞」という品種で、カレーによく合う特別なお米です。今後、稲の観察や世話をしながら、米作りに関する調べ学習を行ったり、華麗舞について調査したりする活動を進めています。

あおぞら 6年生

新井人～わたしのみち～！

6年生は、新井地域周辺（新井・妙高・上越）に生きる偉人と交流することや、地域で活動することを通して、新井について考えたり、人としての生き方について見つめたりしながら、自分らしい生き方をつくり、より豊かに生きていこうとします。



これまでに4人の方から、子どもたちに多くのメッセージをいただきました。

6月3日には、歯科医師の方からおいでいただき、仕事に対する夢、仕事をする上で大切にしていること、仕事のやりがい、小学生への期待、小学校生活でしてほしいこと等をお話していただきました。

「自分も相手も大事にできる子」を目指して

新井小学校では、人と人とのかかわりの中で、一人一人のよさや違いを認め合い、自分も相手も大事にできる子を育てていきたいと考えています。

そこで、今年も友達と協力したり互いのよさを發揮したりする活動を積極的に取り入れていきます。さらに、今年は、学校内だけでなく、新井中学校の生徒との交流も考えています。早速、運動会には、新井中学校の応援団が駆けつけ、運動会を盛り上げてくれました。子どもたちは、たくましい中学生を目の前にして憧れのまなざしで応援の姿を見つめていました。これからも、小・中の交流を企画し、自分も相手も大事にできる子を育てていきたいと思います。

今回のわかたけ通信では、6月に実施した『いじめ見逃しぜロ週間』の取組を紹介いたします。

『いじめ見逃しぜロ週間』の取組

6月2日（木）～8日（水）を『いじめ見逃しぜロ週間』として、様々な取組を行いました。毎朝、生活安全委員会の子どもたちが各教室に行き、「いじめをしない・させない・許さない」と声を合わせて唱え、いじめ見逃しぜロを誓いました。また、全校S S Eでは、職員が演じた劇を見て、ふわふわ言葉とチクチク言葉を比べ、言われた相手がどんな気持ちになるかを考えました。学校生活の中で、相手を思いやるあたたかい言葉が増えることを期待しています。

ここでは、ふれあい給食&ふれあい遊びを紹介します。

ふれあい給食は、縦割り班のなかよし友だチームで食べる初めての給食だったので、子どもたちは、少し緊張しながらも好きな遊びや習い事などの話をしながら楽しく給食を食べました。



おいしいね！

よろしく、仲良くしてね！



ふれあい給食&ふれあい遊び

昼休みは、ふれあい遊びを楽しみました。

「だるまさんがころんだ」や風船バレー、椅子取りゲームなど、班ごとに遊びを決めてみんなで仲良く遊びました。

低学年は「最後まで、誰とでも仲良く活動する」、中学年は「みんなのよいところを見つけ、協力して活動する」、高学年は「リーダーとしてみんなをまとめる」というめあてに向かってみんなで活動しました。これからも、月に1回ふれあい遊びを行う予定です。異学年交流を通して互いの立場を思いやり、人とかかわる力が身に付くよう、支援していきたいと思います。



よいしょっ！



勝つたあ！

